

障がい児食支援論特論（選択・講義 1 単位）[教職（栄養教諭）選択必修] 下 川 和 洋

【授業の到達目標および概要】

授業のテーマ及び到達目標：病弱児の 1 型糖尿病、知的障がい児の肥満、自閉症児の極端な偏食、精神障害にともなう拒食や過食などの摂食障害、重症心身障がい児に見られる摂食嚥下障害など、食に関する様々な病気や障害の理解と支援がテーマである。食に関する様々な配慮や支援が必要な児童生徒の特性の理解と支援方法を身につけ、栄養教諭として児童生徒や保護者、教職員等に対して学校生活における摂食相談等の支援ができる。この科目の目標は、DP にある栄養学の幅広い視野に立って精深な学識を有する者になるための知識修得に関与する。

授業の概要：発達障がい児を含む様々な障がい児の障害特性を学び、その障害特性に応じた支援方法に関する基礎・基本の知識・技術を習得する。

【授業計画】

- ① 特別支援教育の制度概要及び研究課題のテーマ選択
- ② 障がい児の障害特性と支援技術（1）感覚の障害とコミュニケーション支援
- ③ 障がい児の障害特性と支援技術（2）発達障がい児の認知特性と支援
- ④ 障がい児の障害特性と支援技術（3）摂食嚥下機能の発達と障害へ支援
- ⑤ 研究発表と討議（1）「学校給食事故の判例等」の研究
- ⑥ 障がい児の障害特性と支援技術（4）内分泌疾患、摂食障害・偏食等に対する支援
- ⑦ 研究発表と討議（2）「食に配慮が必要な子どもと家族への相談支援」の研究

【授業外学習】

講義は、第 1 回に教科書として「講義ノート」を配布する。「授業で使うパワーポイントの PDF データ」(Teams で提供)を参照・予習の上、授業に参加すること。「研究発表と討議」は、第 1 回目の講義で二つのテーマ（判例研究と相談支援）を提示するのでテーマ毎に 1 つの課題を選択する。第 5 回と第 7 回で研究発表を行っていただく。発表のためのレポート及び資料の準備を行う。（週あたり 200 分程度）

【成績評価の方法・基準】

講義の中で発表した内容（25%）、討論への参加（25%）、および研究発表の成果（50%）により評価を行う。評価等のコメントは講義の中で行う。

【教科書】

指定教科書はなし。配付する「講義ノート」をテキストとして使用する。

【参考書】

「食べる機能の障害 その考え方とリハビリテーション」金子芳洋・向井美恵・尾本和彦（日本医師薬出版）

「特別支援教育ハンドブック」飯野順子・岡田加奈子・玉川進編著（東山書房）

【教材】

テキスト「講義ノート」及び「授業で使うパワーポイントの PDF データ」(Teams で提供)を用いる。授業に必要な個人で用意する演習教材は事前に連絡する。

【備考】

特になし